

【医療機関での受診をおすすめする方】

胃がん検診	バリウム検査でじんましん等のアレルギーを起こしたことがある。
	1年以内に腹部手術を受けた。
	腸閉塞の既往がある。
	頑固な便秘がある。
	食事の飲み込みが悪い。
	むせやすい
	心臓病や腎臓病等で水分制限がある。
	透析をしている。
	脳血管障害の既往や後遺症がある。
	脳圧亢進でシャント中
	インスリンポンプを装着している。(※)
	持続型グルコース測定器を装着している。(※)
身長が195センチメートル以上、または体重が120キログラム以上ある。	
子宮がん検診	子宮全摘術を受けた。
	婦人科で治療中
	体重が135キログラム以上ある。
	出産後である(出産後2か月以降の受診は可能だが、月経再開後が望ましい)。
	避妊器具または骨盤臓器脱用リング挿入中
	性交渉の経験がない(子宮がんの原因のほとんどは性交渉によるヒトパピローマウイルスの感染です。性交渉の経験のない方で子宮がん検診を希望される方は、医療機関でご相談ください。)
乳がん検診	乳腺疾患で治療中
	授乳中、授乳後6か月以内
	ペースメーカーがある。
	ポート(薬液注入器具)が前胸部にある。
	脳圧亢進でVPシャント(脳室－腹腔)がある。 LPシャント(腰椎－腹腔)、VAシャント(脳室－心房)処置を受けた方は、受診可能です。
	インスリンポンプを装着している。(※)
	持続型グルコース測定器を装着している。(※)
(※)インスリンポンプや持続型グルコース測定器を装着している方で、エックス線検査(胃バリウム検査・肺がん検診・乳がん検診)を受診したい場合は、かかりつけ医にご相談ください。 装置の安定性が保てない危険性や、測定値に影響が出る可能性があります。	